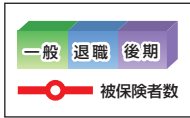
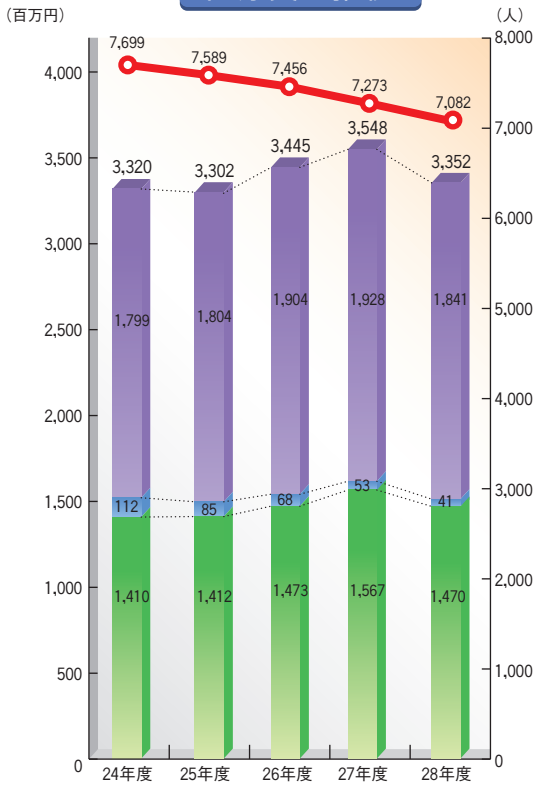


# 芳賀町

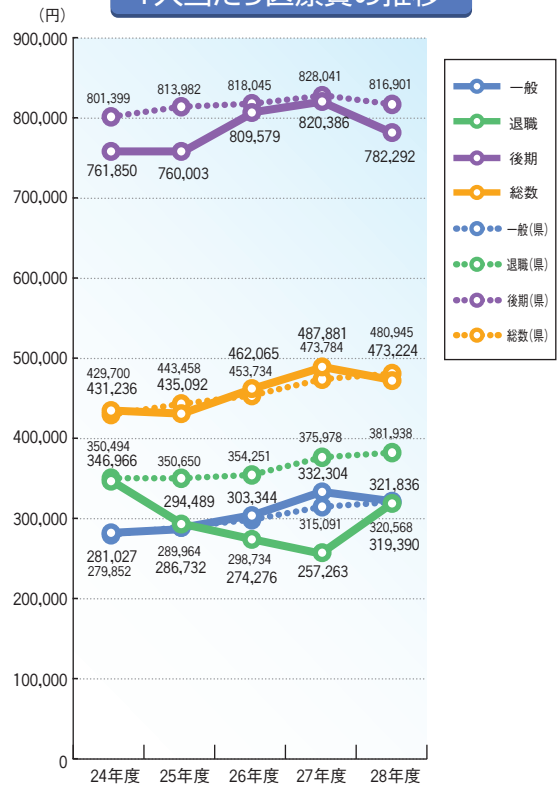
# 芳賀町



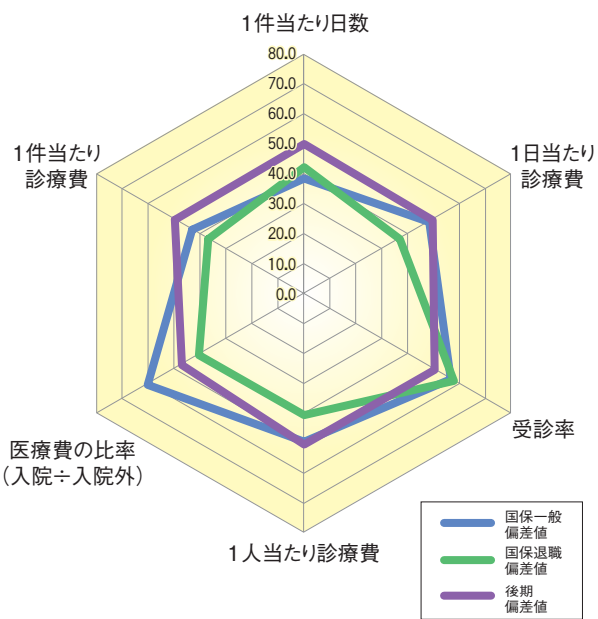
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

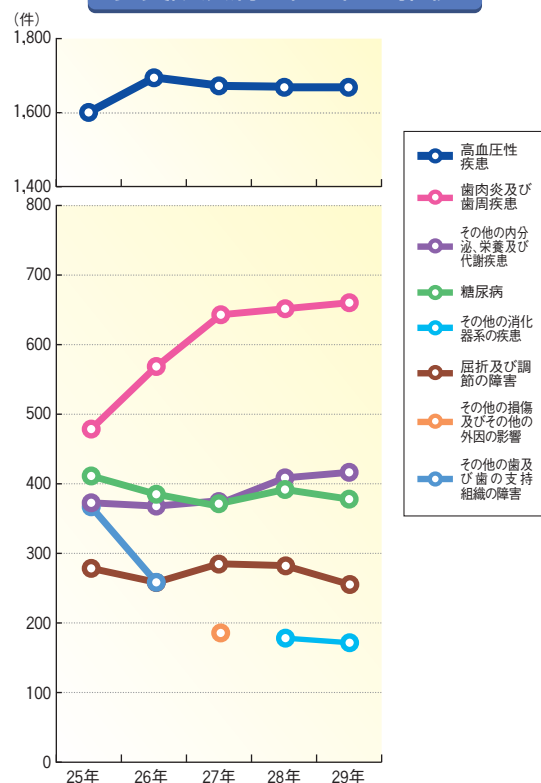


## 平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

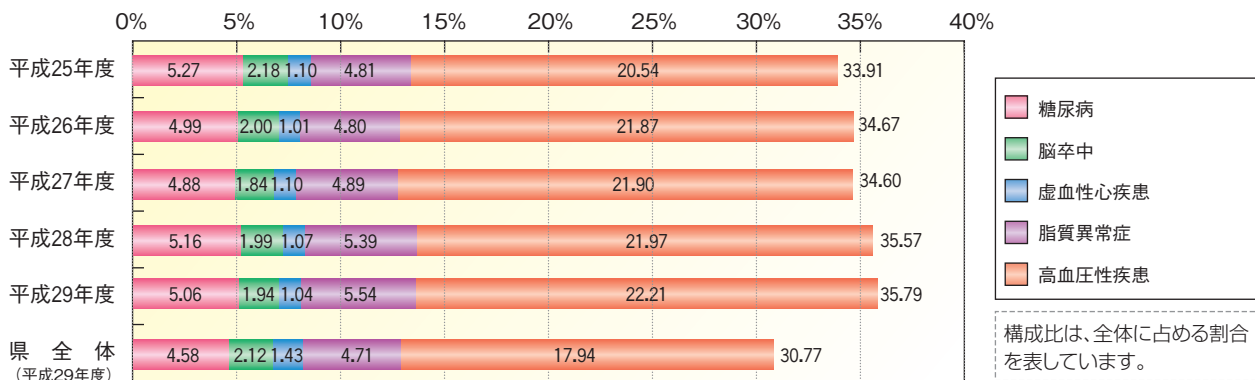


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

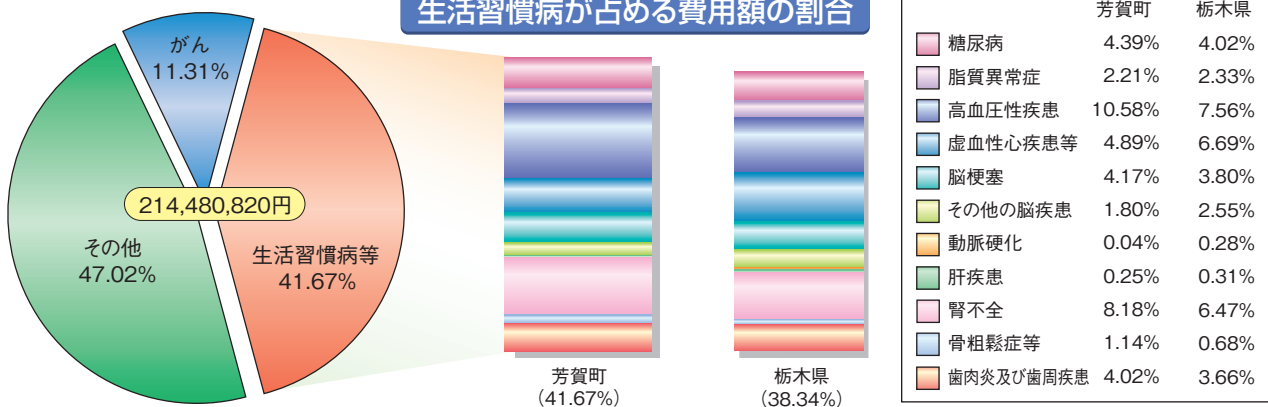
## 多受診疾病上位6位の推移



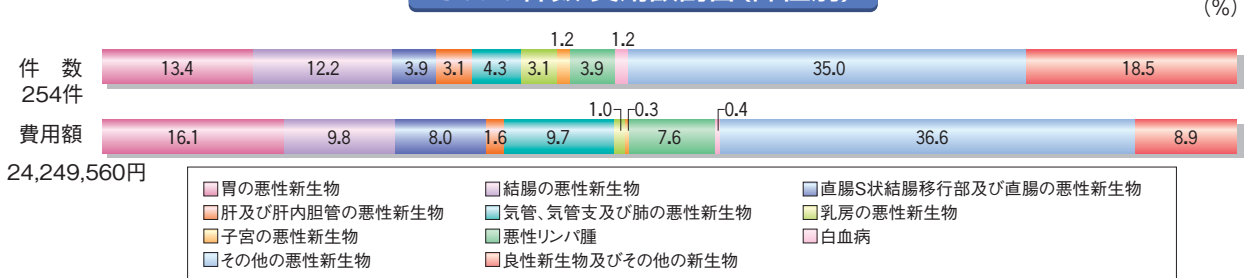
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 芳賀町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,469,831千円(93.8%)、退職40,873千円(76.8%)、後期1,840,928千円(95.5%)で、全体では3,351,632円(94.5%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は7,082人で、内訳は一般4,602人、退職127人、後期2,353人である。前年度比較すると全体で97.4%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は473,244円(14,637円減)、一般は319,390円(12,914円減)、退職は321,836円(64,573円増)、後期は782,292円(38,094円減)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は、受診率、医療費の比率は県平均を上回り、退職は受診率が県平均を上回る高い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の消化器系の疾患で、上位6疾病は、近年ほぼ横ばいで特に大きな変動は見受けられない。2位の歯肉炎及び歯周疾患は、平成25年以降急激に増加しており、平成25年と比べ、件数は1.37倍、費用額は1.62倍となっている。

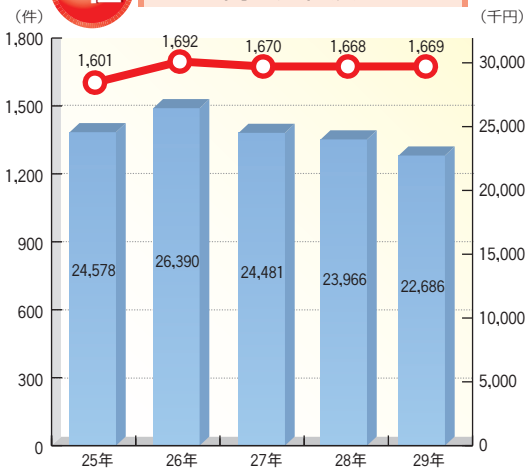
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比はかなり高く、中でも高血圧性疾患は高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が214,480,820円で、がんが11.31%、生活習慣病等が41.67%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.58%、腎不全8.18%、虚血性心疾患等4.89%、となっている。

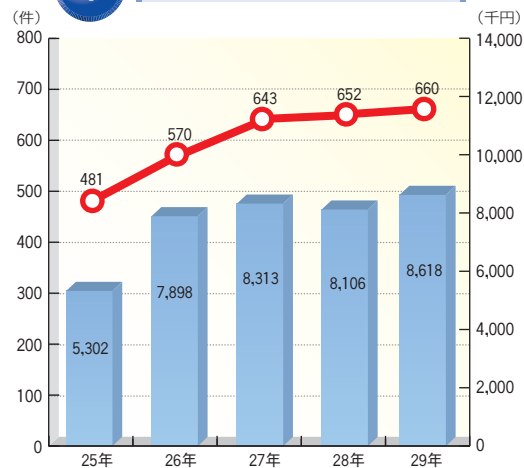
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では胃の悪性新生物の割合が高くなっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

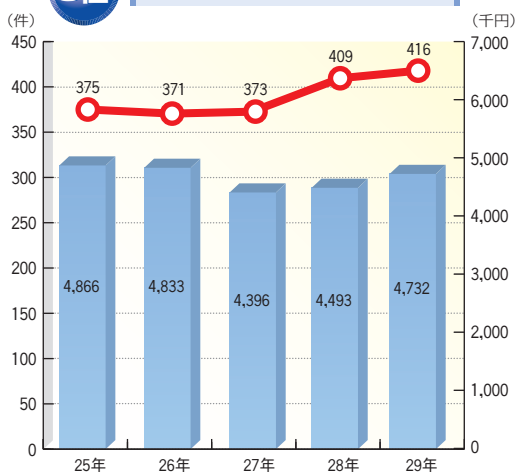
## 1位 高血圧性疾患



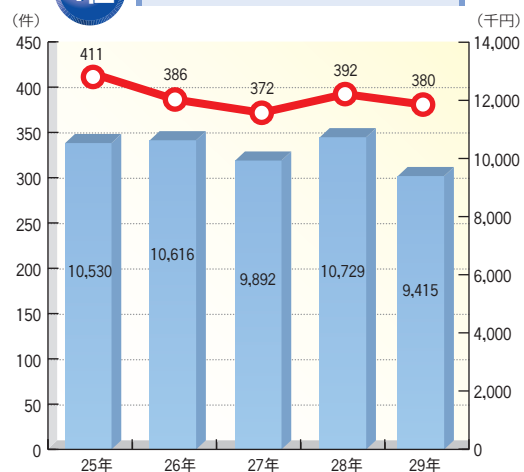
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



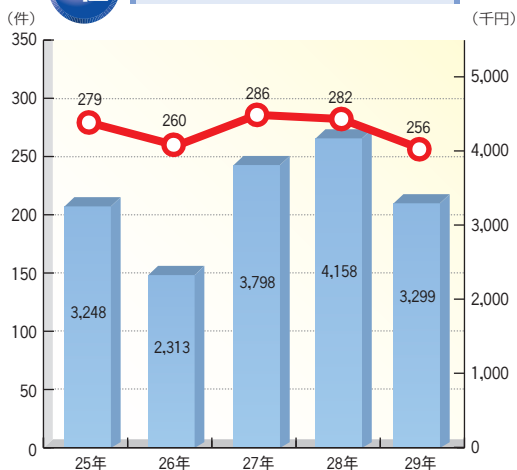
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の消化器系の疾患

